

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策担当マネージャー	生涯学習部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	山崎 正史

I 改革・改善内容(＝政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	(1)学習施設の管理運営の在り方について研究、検討を行うとともに、公民館事業の積極的なPRと市民団体等の活動について支援を行います。 (2)陸上競技場の改修をはじめ、各スポーツ施設の適切な維持管理及び日本ハムファイターズと協働し、プロスポーツを活用したスポーツ教室などイベントの開催やPRの強化を図ります。 (3)市民文化活動の推進を図るため、鑑賞事業、普及事業、情報発信、創造事業、体験・協働事業等に取り組みます。また、文化財の保存・継承・活用の推進を図り、文化財保護、国史跡の整備に取り組みます。		
②①に基づく取り組み結果	(1)人づくり、地域づくりの拠点としての公民館の在り方について調査・研究を行いました。指定管理制度について引き続き研究を継続していきます。また、公民館事業については、講座や研修会等、学習機会の充実を図ることができました。 (2)陸上競技場の改修事業については、実施計画に基づき実施設計を完了。日本ハムファイターズとの連携事業については、20周年記念事業の実施効果もありファイターズを応援しようという気運が高まりました。 (3)きらりホールでは芸術文化の鑑賞の機会を提供するとともに、市民文化祭等、各事業において市民文化活動の推進を図りました。また、文化財については、一本松遺跡の一般公開の実施や遺跡の整理作業を実施しました。	③改革・改善内容	(1)講座を魅力あるものとするため、創意工夫を凝らした内容の充実に努めます。また事業運営に参画することで、まちへのふるさと意識の醸成に繋げるよう市民との協働による事業運営を目指します。 (2)陸上競技場は、日本陸上競技連盟第4種公認取得をめざし、全天候型への改修事業を進めます。また、生涯スポーツによる体力づくりや健康づくりへの意識を育むとともに、北海道日本ハムファイターズと連携し生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図ります。 (3)きらりホール主催公演を中心として、優れた芸術文化を鑑賞する場と機会を提供するとともに集客数のアップに努めます。また、地域文化の充実のため、市民の芸術文化活動の成果を発表する場や機会の提供をするとともに周知の工夫をして参加者数の増加を図ります。 (4)地域の歴史・文化を正しく理解する上で、歴史・文化遺産の保存・継承・活用の推進を図るとともに、資料の保存スペースの確保について検討します。

II 政策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	全ての市民がいつまでも明るく健康で暮らせる社会を実現します。
②政策の概要	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会の実現のため、生涯学習の推進、生涯スポーツ・レクリエーションの推進及び芸術文化の振興を図ります。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習活動、文化・スポーツ活動に対する意識や関心が高く、活動拠点となる施設の整備及び改修の要望が多くあります。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28～29年度の施策の成果	生涯学習活動の充実を図ることで、少しずつではあるが年々学習施設利用者数も増加している。また、H26年度から供用開始した弓道・アーチェリー場をH28年度から指定管理施設に含め管理運営を行い、教室事業を実施することで利用者の拡大を図り、競技人口の増加にも貢献しました。なお、弓道協会については、H29年度新たに体育協会に加盟しました。							
②施策成果指標	指標名称	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値(32年度)	
	1 生涯学習をしている市民割合	%	55.1	-	-	-	70.0	
	2 学習施設利用者数	人	291,611	310,985	327,891	329,862	400,000	
	3 図書館資料貸出数	冊	400,266	408,725	397,206	405,089	450,000	
	4 1年間継続してスポーツをしている市民割合(市民意識調査)	%	21.4	-	-	-	25.0	
	5 余暇時間にスポーツを行っている市民割合(市民意識調査)	%	12.6	-	-	-	15.0	
	6 市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数	人	1,867	1,866	1,725	1,353	2,800	
7 指定文化財数	件	31	31	31	31	32		
③政策の事業費	平成28年度決算	平成29年度決算	市民一人あたり事業費(29年度決算)		平成30年度予算			
事業費(千円)	587,641	670,161	6		554,719			

IV 評価・検討

①課題	(1)陸上競技場は、スポーツ振興くじ助成金を受けてトラックのウレタン舗装、インフィールドの人工芝生化により全天候型として平成31年度に陸上競技連盟の第4種公認取得に向けて整備を進めていきます。 (2)佐津間多目的グラウンドの県営住宅建設にかかる千葉県への用地返還に際し、利用団体の大会開催等にかかる施設の確保及び今後の2期3期工事にかかる用地の継続借用等スポーツ施設の確保が課題となります。		
②総合評価	4未達成	③総合評価の理由	施策に係る各事業は概ね計画通り実施できました。また、第3次実施計画では先送りとなっていた陸上競技場や東初富テニスコートの改修事業は、第4次実施計画で計上され、計画通り進んでいますが、成果指標は、いずれの指標も未だ到達しておらず、未達成となりました。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	生涯スポーツ・レクリエーションの振興		
④上記方向性の説明	スポーツ施設の整備・充実として、第4次実施計画で計上された陸上競技場及び東初富テニスコートの改修事業が計画通り平成30年度に工事完了予定。さらに陸上競技場は全天候型として平成31年度に陸上競技連盟第4種公認取得に向けて記録計測機器や用具等の備品購入を予定しております。		